

結婚式場業の概況

～ 件数、挙式費用ともに減少、チャペルでの挙式が主流～

事業所数	2853事業所	(対8年比	5.8%減)
就業者数	11万7329人		
従業者数	10万5489人	("	34.2%減)
年間売上高	1兆16億円	("	25.1%減)
1事業所当たり売上高	3億5107万円	("	20.5%減)
就業者1人当たりの売上高	854万円		
取扱件数	38万8727件	("	19.3%減)
1件当たりの売上高	258万円	("	7.2%減)

(注)平成8年の従業者1人当たりの売上高は834万円

1. 事業所数

平成14年における結婚式場数は、2853事業所であった。前回調査(平成8年)と比較すると、前回比 5.8%の減少となった。

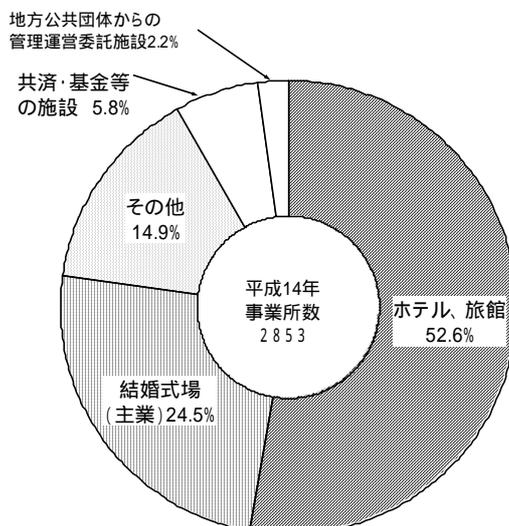
形態別にみると、「共済・基金等の施設」が165事業所で前回比 22.2%の減少をはじめ、「地方公共団体からの管理運営委託施設」が63事業所、同 38.2%減、「ホテル、旅館」が1502事業所、同 2.0%減、「結婚式場(主業)」が698事業所、同 0.1%減など全ての形態で減少となった。

形態別事業所数

	平成8年	平成14年	前回比 (%)	前回差
合計	3029	2853	5.8	176
結婚式場(主業)	699	698	0.1	1
ホテル、旅館	1533	1502	2.0	31
共済・基金等の施設	212	165	22.2	47
地方公共団体からの管理運営委託施設	102	63	38.2	39
その他	483	425	12.0	58

事業形態別に構成比をみると、「ホテル、旅館」が1502事業所(構成比 52.6%)と結婚式場業の半分以上を占め、次いで「結婚式場(主業)」が698事業所で(同24.5%)とこの2つの業態で全体の8割弱となっている。

事業形態別構成比



2. 就業者数

就業者数は、11万7329人であった。雇用形態別にみると、「正社員、正職員」が4万9992人（構成比42.6%）、「パート・アルバイト等」が3万4422人（同29.3%）、「臨時雇用者」が1万9288人（同16.4%）となっている。

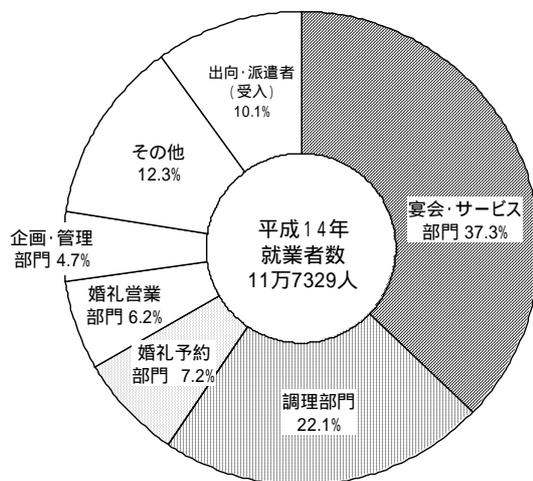
男女別にみると、「男性」が5万3816人（構成比45.9%）、「女性」が6万3513人（同54.1%）となっている。男女別の雇用形態をみると、男性は「正社員、正職員」の構成比が63.5%と高く、女性は同24.9%と低くなっている。また、結婚式場の業務は週末に集中することから、特に女性の「パート・アルバイト等」の比率が高く、同41.3%、次いで「臨時雇用者」は同20.9%、「出向・派遣者(受入)」は、同11.9%となっている。

雇用形態別就業者数

	就業者数 ()内は男女比	個人事業主、無給家族従業者又は有給役員	正社員、正職員	パート・アルバイト等	臨時雇用者	出向・派遣者(受入)
合計(人)	117,329	1,787	49,992	34,422	19,288	11,840
構成比(%)	(100.0)	1.5	42.6	29.3	16.4	10.1
男性(人)	53,816	1,238	34,156	8,173	5,984	4,265
構成比(%)	(45.9)	2.3	63.5	15.2	11.1	7.9
女性(人)	63,513	549	15,836	26,249	13,304	7,575
構成比(%)	(54.1)	0.9	24.9	41.3	20.9	11.9

就業者を部門別にみると、「宴会サービス部門」が4万3821人（構成比37.3%）で最も多く、次いで「調理部門」が2万5933人（同22.1%）と、両部門を合わせると6割弱となっている。このほか、「婚礼予約」、「婚礼営業」、「企画・管理部門」は合わせて約2割、挙式などに係わる「その他部門」が1割強となっている。

部門別就業者数



3. 年間売上高

年間売上高は、1兆16億円で前年比 25.1%の減少となった。年間取扱件数をみると、38万8727件で同 19.3%減、挙式・披露宴1件当たりの単価は258万円で同 7.2%の減少となった。このように、取扱件数の減少に加えて1件当たりの単価の低下などにより、売上高は大幅な減少となった。

年間売上高、取扱件数、挙式・披露宴1件当たりの単価

		平成8年	平成14年	前年比(%)
年間売上高	(億円)	13,373	10,016	25.1
取扱件数	(件)	481,411	388,727	19.3
1件当たりの売上高	(万円)	278	258	7.2

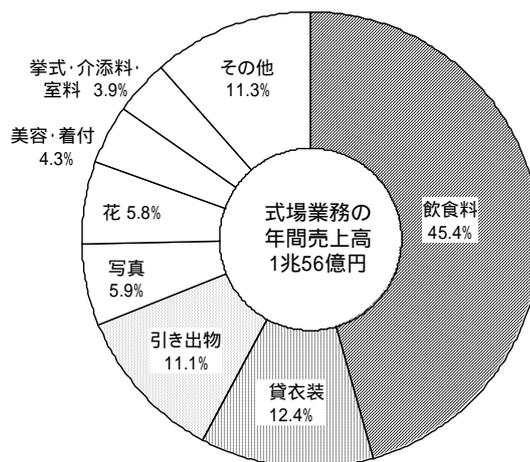
年間売上高を業務種類別にみると、「飲食料」(構成比45.4%)が4550億円で前年比 27.1%の減少、「貸衣装」(同12.4%)は1240億円で、和装よりも単価の低い洋装を選ぶ傾向を反映し同 26.5%の減少、「引き出物」(同11.1%)は1108億円、同 31.2%の減少となった。

また、「挙式・介添料・室料」は387億円で同 11.4%の減少、「花」は578億円で同 9.9%減となった。

業務種類別年間売上高

	平成8年 (億円)	平成14年 (億円)	前年比 (%)
年間売上高	13,373	10,016	25.1
挙式・介添料・室料	437	387	11.4
飲食料	6,243	4,550	27.1
花	641	578	9.9
貸衣装	1,687	1,240	26.5
美容・着付	577	435	24.6
写真	734	587	20.0
引き出物	1,611	1,108	31.2
その他	1,442	1,131	21.6

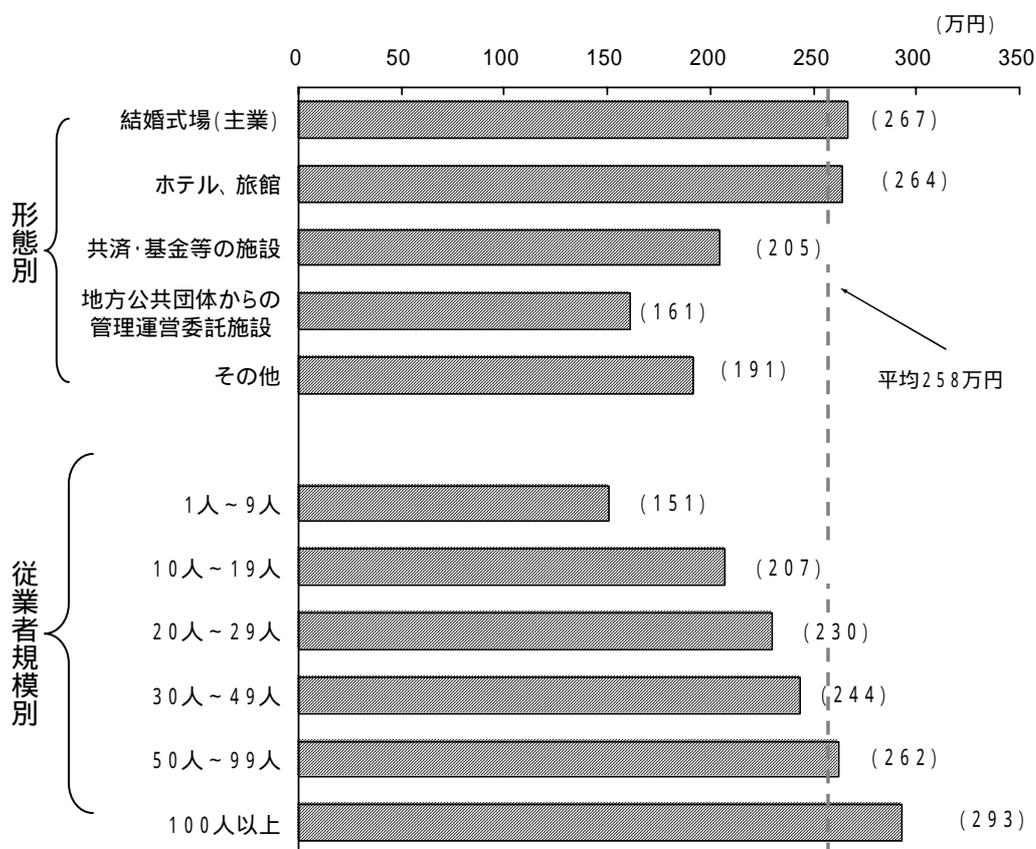
年間売上高の構成比



挙式・披露宴1件当たりの売上高は、258万円となっているが、これを事業所の形態別にみると、「結婚式場(主業)」が最も高く267万円、次いで、「ホテル、旅館」で264万円、「共済・基金等の施設」で205万円、「地方公共団体からの管理運営委託施設」で161万円の順となっている。

また、就業者規模別にみると、「1～9人」規模の事業所では1件当たりの売上高は151万円と低く、規模が大きくなるにつれて売上高が高くなり、「100人以上」規模の売上高は293万円となっている。これは、就業者規模の大きい事業所では宴会場の規模、設備等の充実など対応能力が高いことなどから列席者数の多い披露宴の開催が行えるためであると考えられる。

形態別、就業者規模別挙式・披露宴1件当たりの売上高



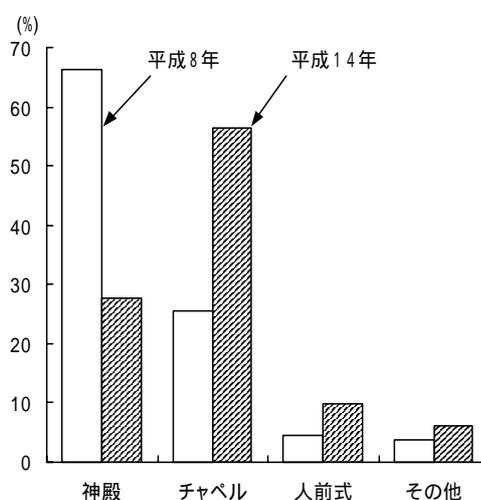
4. 利用件数

費用規模別に年間挙式・披露宴件数の前回(平成8年)比をみると、「200万円未満」の各規模で件数は増加、「200万円以上」の規模では全ての規模で減少となっており、挙式・披露宴においても費用が縮小傾向にある。

次に、披露宴の件数を参加人数規模別にみると、「50人未満」規模が前回調査と比較して5割増、最も件数の多い「50人～100人未満」規模は前回比 24.4%の減少となった。

挙式場別の年間挙式件数をみると、「神殿」が10万2354件で同 66.7%の大幅な減少、「チャペル」は20万8949件で同76.9%の増加となり、チャペルでの挙式が構成比56.4%と半数以上を占めている。

式場別利用件数（構成比）

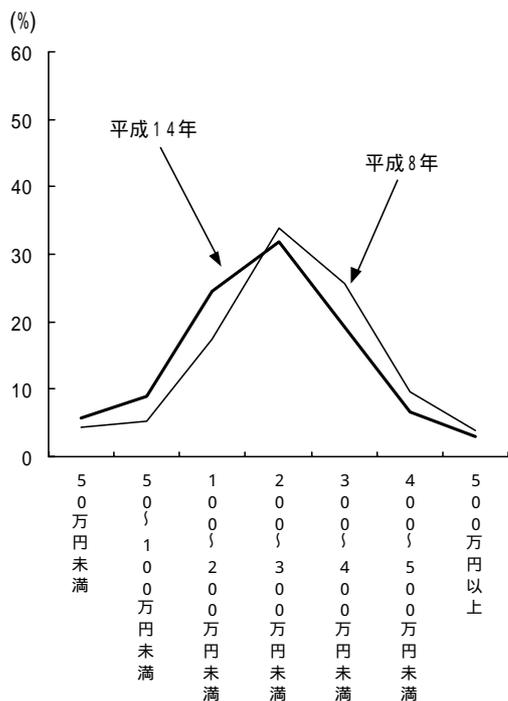


利用件数（費用規模別、参加人数規模別、挙式場別）

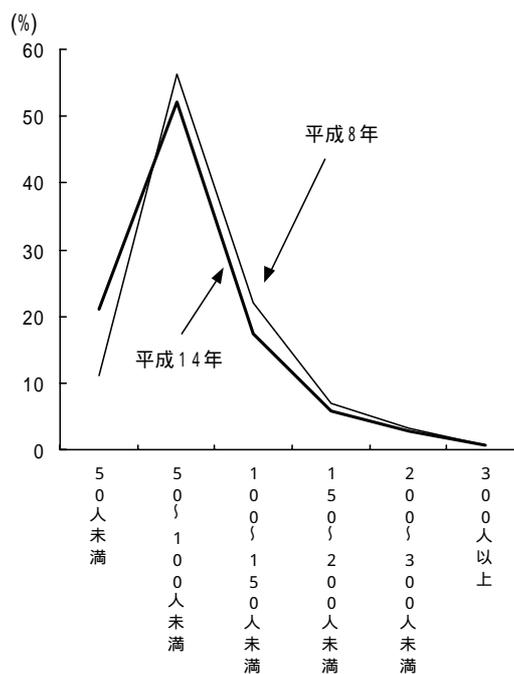
	平成8年 (件)	平成14年 (件)	前回比 (%)
費用規模別、年間挙式・披露宴件数			
合計	481,411	388,727	19.3
50万円未満	20,833	22,531	8.2
50～100万円未満	25,044	34,960	39.6
100～200万円未満	83,451	95,072	13.9
200～300万円未満	163,341	124,354	23.9
300～400万円未満	123,194	75,284	38.9
400～500万円未満	46,724	25,501	45.4
500万円以上	18,824	11,025	41.4
参加人数規模別、年間披露宴件数			
合計	462,152	376,996	18.4
50人未満	51,795	79,708	53.9
50～100人未満	259,799	196,515	24.4
100～150人未満	101,337	65,640	35.2
150～200人未満	31,771	22,127	30.4
200～300人未満	14,482	10,291	28.9
300人以上	2,968	2,715	8.5
挙式場別、年間挙式件数			
合計	463,743	370,736	20.1
神殿	306,938	102,354	66.7
チャペル	118,087	208,949	76.9
人前式	20,899	36,360	74.0
その他	17,819	23,073	29.5

費用規模別挙式・披露宴件数の分布を前回(平成8年)と比較すると、平成14年は費用規模の小さい方にシフトしている。また、参加人数規模別披露宴件数の分布をみると、平成8年に比較して「50人未満」規模の披露宴件数のみが構成比を増やし、50人以上の各規模の披露宴件数の比率は減少となった。

費用規模別挙式・披露宴件数の分布



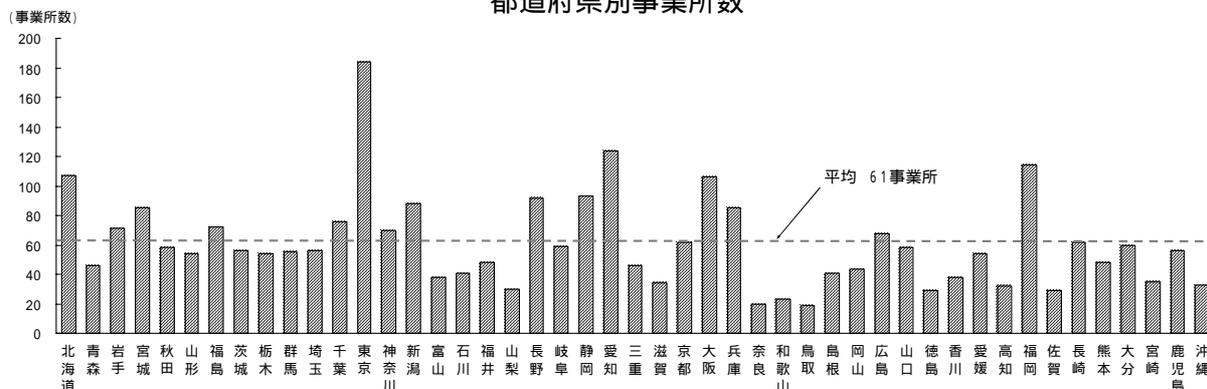
参加人数規模別披露宴件数の分布



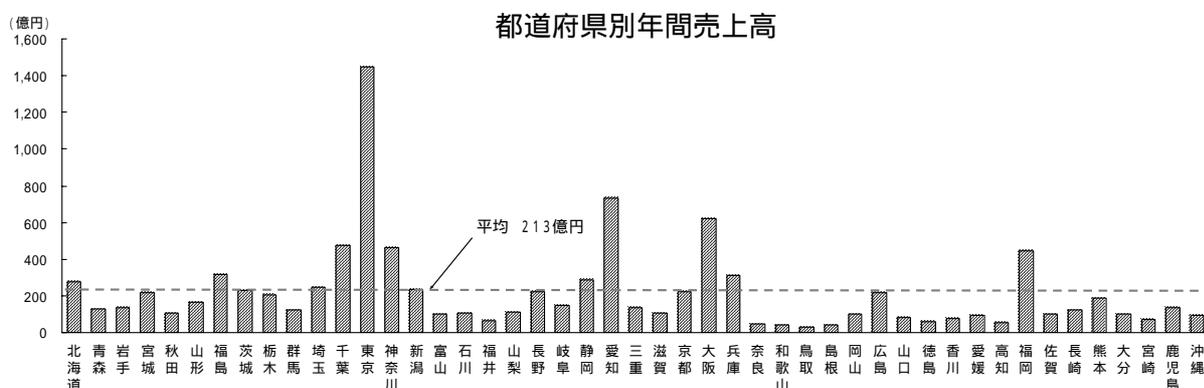
5. 都道府県別

都道府県別に事業所数をみると、人口の多い地域に集中しており、東京が184事業所、愛知が124事業所、福岡が114事業所、北海道が107事業所、大阪が106事業所の順となっている。

都道府県別事業所数



都道府県別に年間売上高をみると、事業所数同様に人口の多い地域に集中しており、東京が1446億円、愛知が733億円、大阪が623億円、千葉が477億円、神奈川が464億円の順となっている。



都道府県別に結婚式場業務 1 件当たりの売上高をみると、山形が最も高額で365万円で、福島362万円、山梨347万円、茨城346万円、秋田329万円の順となっている。逆に最も低かった県は、奈良の161万円であった。

結婚式場業務 1 件当たりの売上高の上位都道府県

	事業所数	結婚式場業務の年間売上高 (百万円)	件数	1件当たりの売上高 (万円)
全国計	2,853	1,001,597	388,727	258
1	山形	54	16,524	4,525
2	福島	72	31,441	8,681
3	山梨	30	10,970	3,162
4	茨城	56	22,862	6,604
5	秋田	58	10,581	3,217
6	青森	46	12,821	4,012
7	栃木	54	20,740	6,502
8	岩手	71	13,232	4,189
9	佐賀	29	9,778	3,186
10	新潟	88	23,569	7,722

都道府県別結婚式場業務 1 件当たりの売上高

